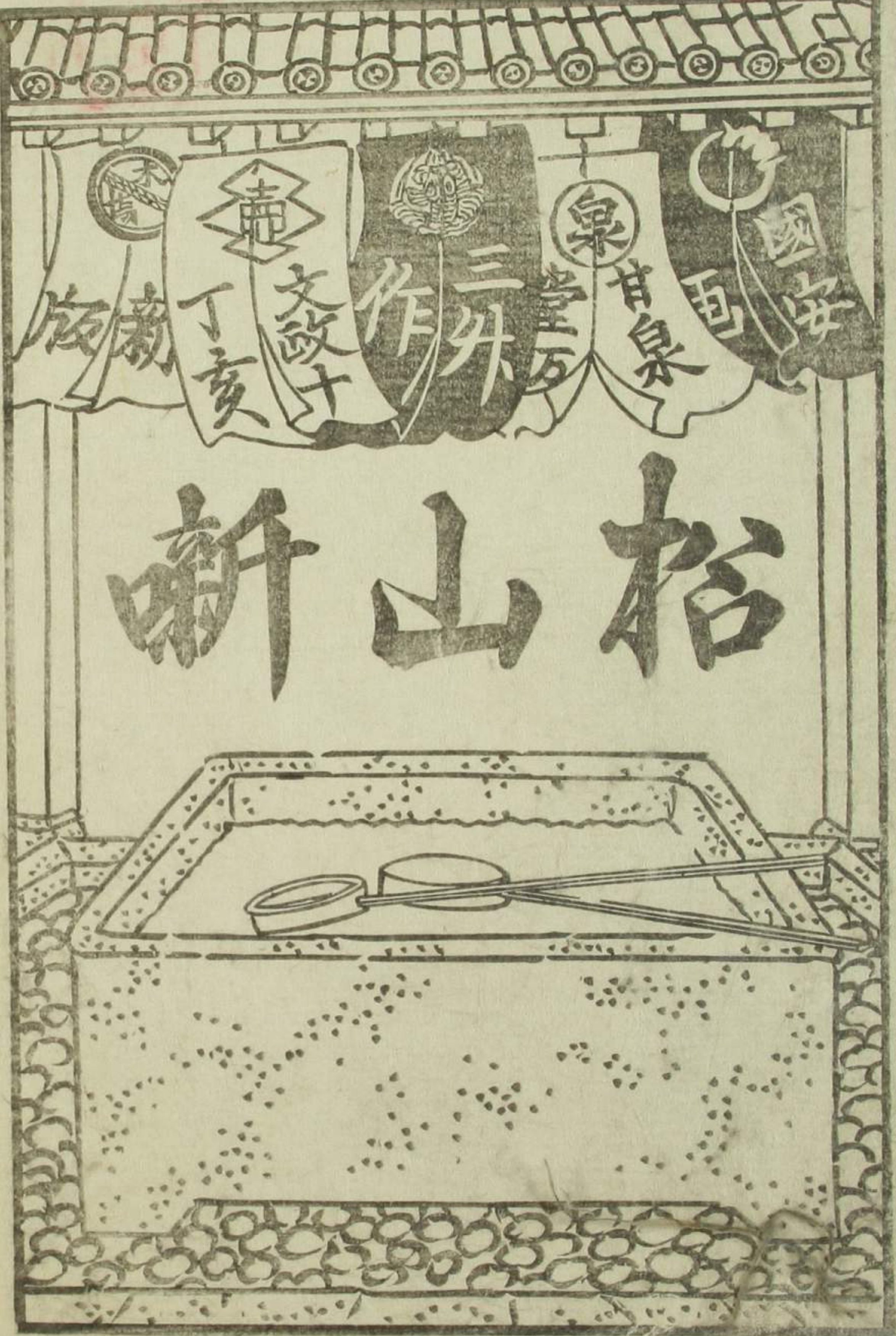


遠特
2378
352



江戸生
壺

五日の志意ありといふも魚肉をたぢまき十日の船回續といふも銀
葵のたをまぢり五風十雨の時をたぢまき御代の印とて眼の花
を涙く口小諸の珠味をゆくも耳小諸鳥の初音を吸され時身自
由自在に波裏酒屋三重豆腐屋二重も振岸のあり時雨の面世
御行の松のありのありの仕着の折若葉の傾城氣質
子目さるる當春開影改まりまゝ細見の浄瑠璃をこの流好るまじ
歌舞伎役者の似顔通る古をたぢまき千里ののこり箱根ののこり野
と化ののこりよの怪談の些少れ物若くは時代の筆をこきり海客
作はえりぬるぬる和泉屋番當て御社の矢筈箱荷の物干し化てのこり言
清團扇風の内は舞見柳長も浮世の仲は昔送夜半樂のやも
鶏が啼東の舟歌川の雲と方に筆を搦て前後合て六州をよまの
合ぬ顔回あ柏子に黙て爾云

文政十年亥春新鑄

市川三升戲識

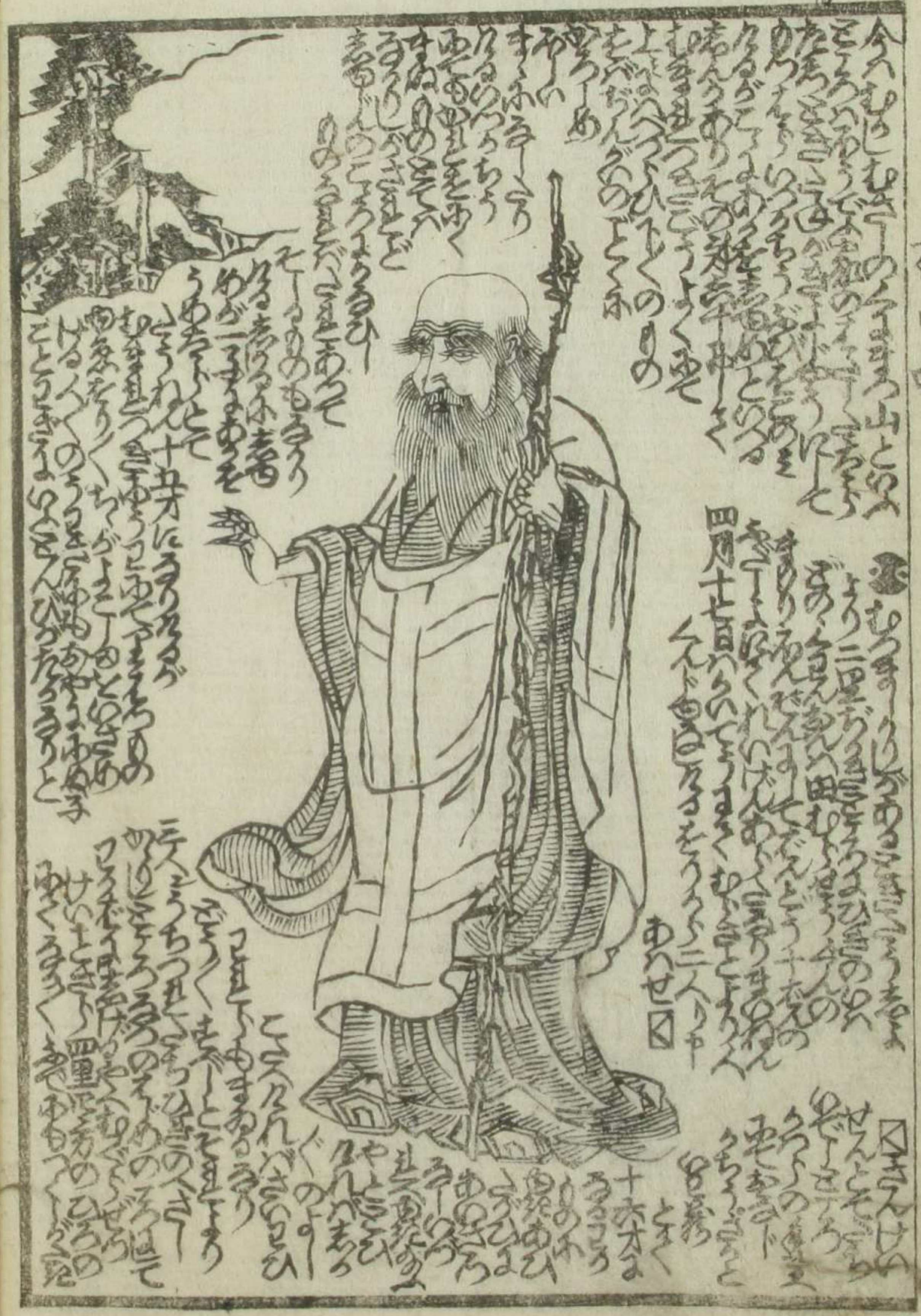
松山形





天城山 (Amakage-yama)







Handwritten text in Japanese, likely a narrative or commentary, surrounding the illustration. The text is written in a vertical column and includes various characters and phrases.



Handwritten text in Japanese, likely a narrative or commentary, surrounding the illustration. The text is written in a vertical column and includes various characters and phrases.



おしん







水山

三



松山呀

十四

三升作 國安画

三升作の事
 三升作は、松山に生れたる者なり。幼少より武藝に長け、尤も槍術に絶倫なり。其の事、後述す。

三升作の事
 三升作は、松山に生れたる者なり。幼少より武藝に長け、尤も槍術に絶倫なり。其の事、後述す。

三升作の事
 三升作は、松山に生れたる者なり。幼少より武藝に長け、尤も槍術に絶倫なり。其の事、後述す。

三升作の事
 三升作は、松山に生れたる者なり。幼少より武藝に長け、尤も槍術に絶倫なり。其の事、後述す。

三升作の事
 三升作は、松山に生れたる者なり。幼少より武藝に長け、尤も槍術に絶倫なり。其の事、後述す。

三升作の事
 三升作は、松山に生れたる者なり。幼少より武藝に長け、尤も槍術に絶倫なり。其の事、後述す。



四

三升作の事
 三升作は、松山に生れたる者なり。幼少より武藝に長け、尤も槍術に絶倫なり。其の事、後述す。

三升作の事
 三升作は、松山に生れたる者なり。幼少より武藝に長け、尤も槍術に絶倫なり。其の事、後述す。

三升作の事
 三升作は、松山に生れたる者なり。幼少より武藝に長け、尤も槍術に絶倫なり。其の事、後述す。



松山新





はつし



はつし



Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the illustration on the left page.

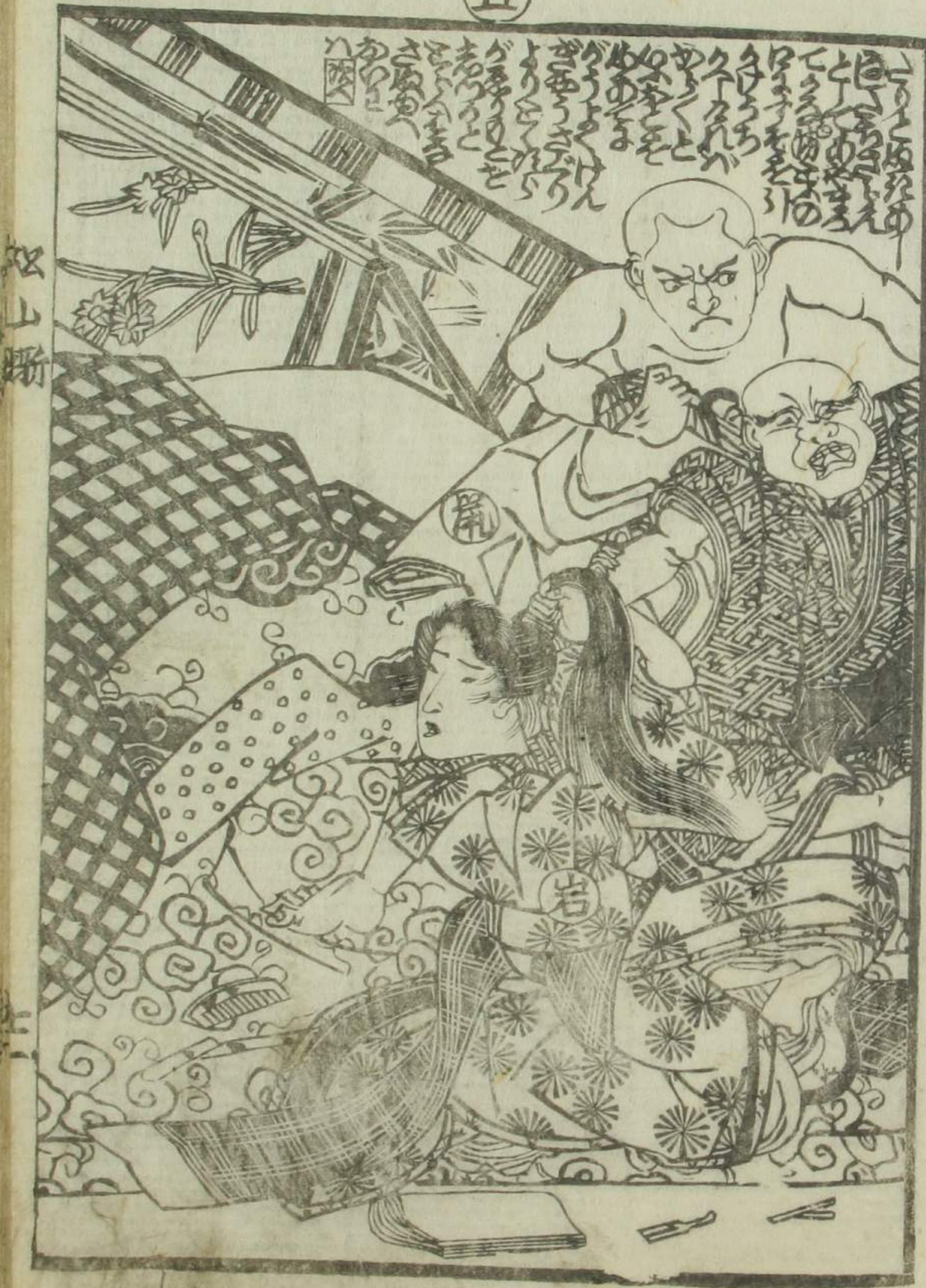


Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the illustration on the right page.

木山

十八

五



松山



松山





又山折

北三





木山

十七



おし野

十



江戶本
 美艷
 香女仙
 甲見
 一旬
 香女仙
 美艷
 香女仙
 甲見
 一旬

▲ 奉に用ひしり...
 ▲ できのめくわ...
 ▲ 中まびか...
 ▲ 考に用ひ...
 ▲ 惣身一切...
 惣身一切の...

調合賣弘所 江戸芝神明前
 坂本氏

右の... 上...

取次所 江戸芝神明前
 和泉屋市兵衛

加賀屋所

田中

金...

